城北（じょうほく）中学校・高等学校（男子校）

それぞれのニーズに合わせて選べる生徒の期待に応えるグローバル教育

城北中学校・高等学校のグローバル教育では、生徒の主体性が大切にされています。そこには、ただ単に英語力アップだけをめざすのではなく、将来に活かせる経験にしてほしいとの思いが込められています。

目標を持って臨み自らの成長につなげる

生徒1人ひとりと向きあい、丁寧に指導する教育が魅力の城北中学校・高等学校（以下、城北）。様々な取り組みのなかから、今回はグローバル教育についてお伝えします。

国際教育委員会委員長の小松原邦信先生は、その狙いを「海外の文化や、そこで暮らす人々に興味を持つきっかけにしてほしいですね。本校だからこそできる『城北カラー』のグローバル教育を提供したいと考えています」と話されます。そうした思いから、希望者を対象に4つのプログラムを展開しています。

国際教育委員会委員長
小松原（こまつばら） 邦信（くにのぶ）先生

「イングリッシュ・シャワー」は、生徒5、6人とネイティブスピーカーの講師でグループを作り、英語のみを使って様々なレクリエーションに取り組みます。校内で行われるため、気軽に参加できるのが魅力です。

「日本を飛び出して英語力を磨きたい」と考える生徒には、ホームステイをしながら大学のキャンパス内で英語を学びつつ、現地の学生とも交流する「オーストラリア語学研修」や、宿舎に宿泊し、現地講師とのマンツーマンレッスンでスピーキング力を徹底的に鍛える「春季セブ島上級語学留学」（選抜試験あり）が用意されています。

さらに「異文化のなかに身をおき、海外の同世代と触れあいたい」と意欲を燃やす生徒は、4カ国から行き先を選べる「ターム留学」（選抜試験あり）に挑戦できます。

なお、イングリッシュ・シャワー以外は事前学習を複数回実施。コミュニケーション力を高めたり、その土地の文化を学んだりと、どの回も現地での生活を意識した内容です。

帰国後は、自らの体験をレポートにまとめるとともに、保護者の前で発表を行います。「それぞれに感じるものがあり、成長につなげられたのだと、発表を聞いてわかりました。その姿がとても頼もしかったです」と嬉しそうに話す小松原先生。

生徒が自分に合ったものを選択できるよう、特色の異なるプログラムをそろえる城北のグローバル教育。「生徒個々に合わせた教育を」という同校の思いが感じ取れます。

「大切なのは目標を持って、自分の意思で臨むことです。どの生徒にも必ず輝ける場、個性を発揮できる場があります。それは語学研修なのか留学なのか……。検討した結果、参加しないという選択肢を選んでも間違いではありません。自分と向きあい、しっかりと考えて行う取り組みは、どれも必ず将来に活きるはずです」（小松原先生）

School Information

所在地：東京都板橋区東新町2-28-1　アクセス：東武東上線「上板橋駅」徒歩10分、地下鉄有楽町線・副都心線「小竹向原駅」徒歩20分
TEL：03-3956-3157　URL：https://www.johoku.ac.jp/

【タイアップ記事】
Johoku Junior & Senior High School

城北カラーのグローバル教育

「部活動と両立できるように国内で」「現地校の授業を体験したい」など、
ニーズに合わせて選べる４つのプログラム。みなさんならどれに参加したいですか？
ターム留学に挑戦した先輩の声もご紹介します。

ターム留学

対象：高１　人数：10人程度　期間：３カ月（高１の３学期）
場所：アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドから選択

様々な人と英語で交流し人生の幅が広がった

高2　川口（かわぐち） 瑛司（えいじ）さん

Q参加動機、行き先を教えてください。

外資系の企業で働きたいという夢に向けて、英語のコミュニケーション力を鍛えるために参加しました。行き先はカナダです。カナダは、自然豊かな国で、治安もいいので留学生が多いです。カナダ人だけでなく、タイ人やブラジル人、ドイツ人の友だちもできました。

Q現地での生活はいかがでしたか。

城北で事前研修を受けていたので、スムーズに溶け込むことができました。まず語学学校で英語力を鍛えてから現地校に通うプログラムだったこともよかったのだと思います。

はじめのうちはクラスメイトが話すスピードについていけずとまどいましたが、彼らが気にせずにどんどん話しかけてくれたので、すぐに慣れました(笑)。

現地校で受けたのは数学やプログラミング、デジタルアートの授業です。デジタルアートは写真をパソコンで加工しイラスト調にするなど、日本では見かけない科目で新鮮でした。

Qターム留学参加後、川口さんのなかで変化はありましたか。

城北にいるネイティブスピーカーの先生とよく話すようになりました。カナダに留学して英語を身近においたら、英語はコミュニケーションツールだと改めて実感したんです。

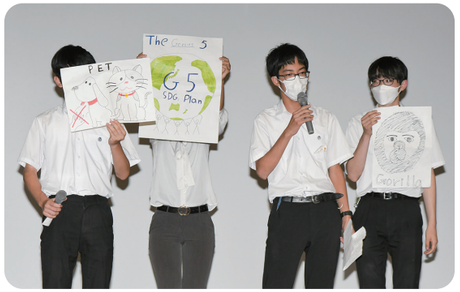
Q読者にメッセージをお願いします。

海外に行くと、いま見えているものがすべてではない、色々な選択肢があるのだと気づき、人生の幅が広がります。城北は留学も含め、生徒のやりたいことを応援してくれる学校ですよ。

留学先のカナダで撮った街の様子

イングリッシュ・シャワー

対象：中１～高１　人数：定員なし
期間：３日間（夏・冬・春休み）　場所：校内



最終日にはプレゼンテーションやディベートを実施

オーストラリア語学研修

対象：中3、高１　人数：各40人　期間：15日間（夏休み）
場所：オーストラリア・ゴールドコースト

研修場所は留学生を多く受け入れているグリフィス大学

春季セブ島上級語学留学

対象：高１、高２　人数：計20～30人
期間：15日間（春休み）　場所：フィリピン・セブ島

自然に囲まれながら１日７コマのレッスンで英語力アップ

説明会情報

学校説明会　要予約 11月４日(土)	**入試説明会**　要予約 11月23日(木祝) 11月26日(日)
体験授業　要予約 11月４日(土) 算数 11月11日(土) 国語(YouTube) 11月18日(土) 情報	**少人数制ショート学校説明会**　要予約 12月23日(土)　12月24日(日) １月27日(土)

※詳細は事前に学校 HP にてご確認ください。

※「中学受験 サクセス 12 11・12 月号 2023」より転載